

綾瀬市 橋りょう長寿命化修繕計画 (橋りょう個別施設計画)



下原橋 (シモハラバシ)

令和 7 年 1 2 月



綾瀬市

目 次

1.	長寿命化修繕計画の背景と目的.....	1
1. 1.	背景.....	1
1. 2.	目的.....	2
2.	長寿命化修繕計画の対象施設.....	3
3.	健全性の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針.....	4
3. 1.	健全性の把握.....	4
3. 2.	日常的な維持管理に関する基本的な方針.....	4
4.	計画全体の方針.....	5
4. 1.	老朽化対策における基本方針.....	5
4. 2.	新技術等の活用方針.....	8
4. 3.	費用の縮減に関する具体的な方針.....	8
5.	計画全体の目標.....	9
5. 1.	集約・撤去や新技術等の活用に関する短期的な数値目標及びそのコスト縮減効果.....	9
6.	計画対象期間における事業計画.....	9
7.	長寿命化修繕計画による効果.....	11
8.	意見聴取した学識経験者、計画策定部署.....	12
8. 1.	意見聴取した学識経験者.....	12
8. 2.	計画策定部署.....	12

【別紙 1】個別の構造物ごとの事項

- ・ 構造物の諸元
- ・ 直近における点検結果及び次回点検年度
- ・ 対策内容
- ・ 対策の着手・完了予定年度
- ・ 対策に係る全体概算事業費

1. 長寿命化修繕計画の背景と目的

1.1. 背景

平成19年4月に、国が地方公共団体に通知した「長寿命化修繕計画策定事業費補助制度要綱¹」により、従来の事後的な修繕及び架替えから、予防的な修繕へ政策転換を図ることが求められるようになりました。このため、定期点検が完了した重要な36橋について、平成25年3月に橋りょう長寿命化修繕計画を策定しました。

その後、国が平成25年11月に策定した「インフラ長寿命化基本計画²」に基づき、道路管理者は、インフラの維持管理・更新等を着実に推進するための中期的な取組の方向性を明らかにする「インフラ長寿命化計画」を策定することが求められました。これを受け、本市では「綾瀬市公共施設マネジメント基本方針」を策定しています。さらに、その計画に基づき、個別施設毎の具体の対応方針を定める「長寿命化修繕計画（個別施設計画）」を策定することが求められました。本計画は、個別施設計画の内、「橋りょう長寿命化修繕計画」に位置付けられます。

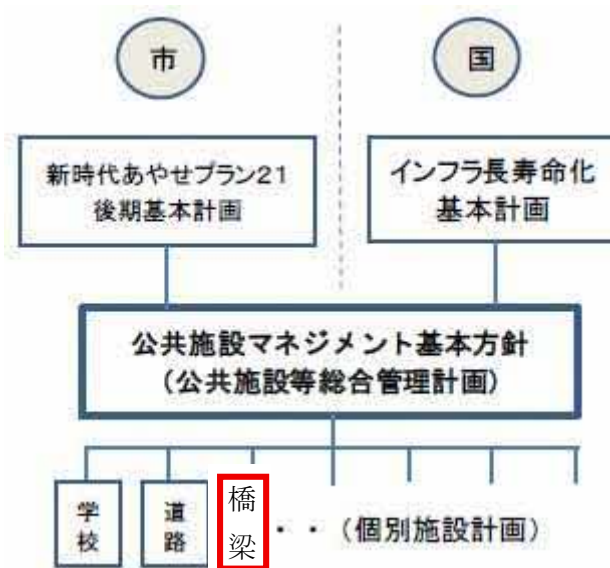


図1-1 計画の体系図³

また、平成26年7月には、道路法施行規則の一部改正が施行され、5年に1回の頻度で近接目視により定期点検を行うことが基本となりました⁴。これを踏まえ、平成3

¹ 長寿命化修繕計画策定事業費補助制度要綱は、メンテナンス事業補助制度要綱（令和2年3月31日）の通知により廃止されています。

² インフラ長寿命化基本計画は、平成25年6月に閣議決定した「日本再興戦略」に基づき、インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議において、同年11月にとりまとめられた基本計画です。

³ 綾瀬市公共施設マネジメント基本方針（令和3年12月改定）p.1

⁴ 道路法施行規則第四条の五の六

1 年度までに定期点検を実施し、令和 3 年 3 月に橋りょう長寿命化修繕計画を改定しました。本計画は、令和 6 年度までに定期点検を実施した 9 5 橋について、橋りょう長寿命化修繕計画を改定するものになります。

表 1－1 橋りょう長寿命化修繕計画の策定経緯

年版	備考
平成 2 5 年 3 月	策定
令和 3 年 3 月	改定
令和 7 年 1 2 月	改定（本計画）

1.2. 目的

長寿命化修繕計画の目的は、以下の通りとします。

- ・ 定期点検の結果や施設の重要性を踏まえた修繕の優先順位を設定することで、効率的に修繕を実施します。
- ・ 修繕計画を踏まえたメンテナンスサイクルを構築することで、橋りょうの長寿命化、大規模修繕の回避、中長期的なトータルコストの縮減及び予算の平準化を図ります。

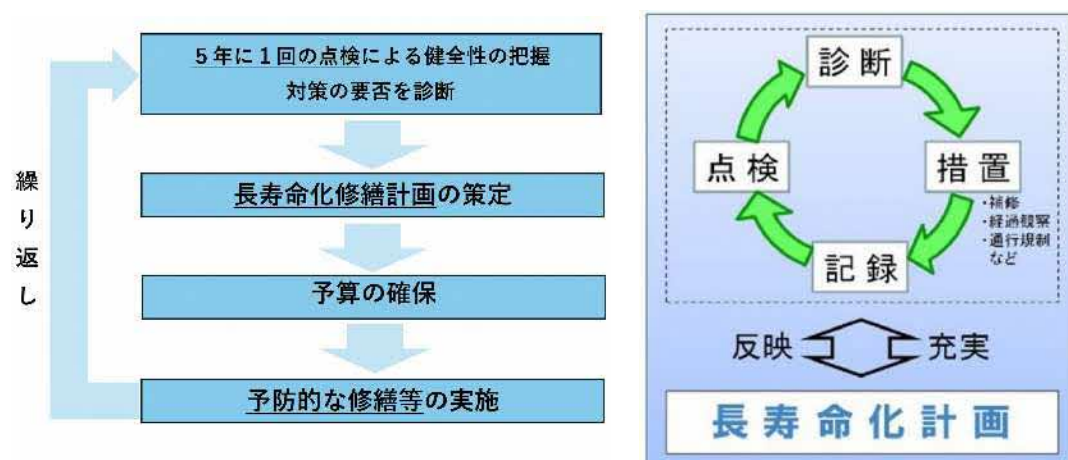


図 1－1 長寿命化修繕計画の目的⁵

⁵ 道路のメンテナンスサイクルの構築に向けて（平成 25 年 6 月 社会資本整備審議会 道路分科会道路メンテナンス技術小委員会）における、「道路メンテナンス技術小委員会の中間とりまとめについて」及び「第 4 回道路メンテナンス技術小委員会 配布資料」より

2. 長寿命化修繕計画の対象施設

(1) 対象橋りょうの名称及び諸元

対象橋りょうの名称及び諸元は別紙1の通りです。

(2) 対象橋りょうの道路条件

対象橋りょうの道路条件は表2-1の通りです。

表2-1 道路条件

緊急輸送道路 ⁶	緊急輸送道路 補完道路 ⁷	その他道路 ⁸	合計
3	12	80	95

(3) 対象橋りょうの桁下条件

対象橋りょうの桁下条件は表2-2の通りです。

表2-2 桁下条件

緊急輸送 道路 ⁶	緊急輸送 道路補完 道路 ⁷	その他道 路 ⁸	鉄道	河川・水 路	その他	合計
13	0	4	7	71	0	95

⁶ 緊急輸送道路とは、地震等の大規模災害発生直後から救助活動人員や物資等の緊急輸送を円滑かつ確実に行うための道路です。

⁷ 緊急輸送道路補完道路とは、緊急輸送道路を補完する道路です。

⁸ その他道路とは、緊急輸送道路、緊急輸送道路補完道路以外の道路です。

3. 健全性の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

3.1. 健全性の把握

本市では、令和6年度までに95橋の定期点検を実施しました。点検結果は、表3-1に示す、健全性の診断の区分（以下「健全性」という。）に分類しています。計画対象橋りょうの健全性は別紙1の通りです。

表3-1 健全性の診断の区分⁹

健全性		状 態
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態。
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

3.2. 日常的な維持管理に関する基本的な方針

橋りょうを良好な状態に保つため、日常的な維持管理として、パトロールや清掃などを行います。

⁹ トンネル等の健全性の診断結果の分類に関する告示（平成二十六年国土交通省告示第四百二十六号）

4. 計画全体の方針

4.1. 老朽化対策における基本方針

(1) 適用方針

本計画は「橋梁長寿命化修繕計画基本方針¹⁰⁾」に基づき策定することを基本とします。

(2) 管理水準

健全性Ⅰを管理水準とします。よって、修繕した橋りょうは、健全性Ⅰに回復させます。

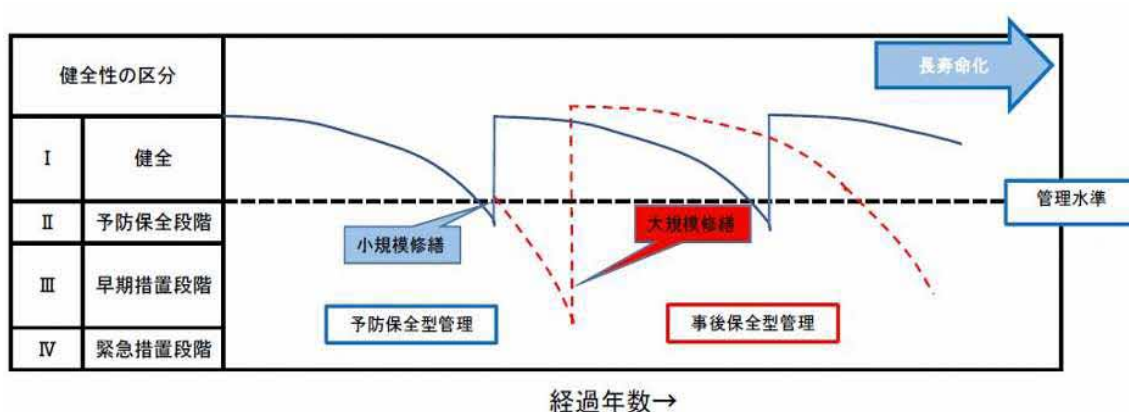


図4-1 管理水準¹¹⁾

¹⁰⁾ 橋梁長寿命化修繕計画基本方針とは、神奈川県内の市町村が管理する橋りょうにおいて、道路管理者が統一した管理及び効率的な維持管理を実施することを目的として策定された基本方針のことです。令和5年4月に（公財）神奈川県都市整備技術センターが策定しています。

¹¹⁾ 橋梁長寿命化修繕計画基本方針 p.4

(3) 管理方針

橋りょうの管理方針は、「予防保全型」を基本とします。予防保全型は、健全性がⅡとなった段階で、予算の範囲内で必要な対策を計画的に実施します。ただし、第三者被害のおそれの無い溝橋や単径間の床版橋等で、構造特性や周辺状況により、大規模修繕を行う際の社会的影響が小さいと判断した橋りょうについては「事後保全型」で管理します。事後保全型は、健全性がⅢとなった段階で対策します。表４－１に予防保全型の管理方針、表４－２に事後保全型の管理方針を示します。計画対象橋りょうの管理方針は別紙１の通りです。

表４－１ 予防保全型の管理方針¹²

健全性		管理方針	修繕優先度
I	健全	健全な状態であるため、修繕の対象外とします。	<div style="text-align: center;"> <div style="width: 10px; height: 100px; background: linear-gradient(to top, red, orange, yellow); margin: 0 auto;"></div> <p>(低い)</p> <p>(高い)</p> </div>
II	予防保全段階	<u>予防保全の観点から、予算の範囲内で必要な対策を計画的に実施します。</u>	
III	早期措置段階	５年以内に優先して修繕を実施することを基本とします。	
IV	緊急措置段階	緊急措置が必要な状態であるため、本計画の対象外とします。	

表４－２ 事後保全型の管理方針¹²

健全性		管理方針	修繕優先度
I	健全	健全な状態であるため、修繕の対象外とします。	<div style="text-align: center;"> <div style="width: 10px; height: 100px; background: linear-gradient(to top, red, orange, yellow); margin: 0 auto;"></div> <p>(低い)</p> <p>(高い)</p> </div>
II	予防保全段階	<u>修繕の対象外とします。</u>	
III	早期措置段階	５年以内に優先して修繕を実施することを基本とします。	
IV	緊急措置段階	緊急措置が必要な状態であるため、本計画の対象外とします。	

¹² 橋梁長寿命化修繕計画基本方針 p.4,p.9（一部修正）

(4) 修繕の優先順位

効率的に修繕を実施するため、修繕の優先順位を設定します。修繕の優先順位は、橋りょうの健全性と重要度指標¹³により、図4-2の通りとします。

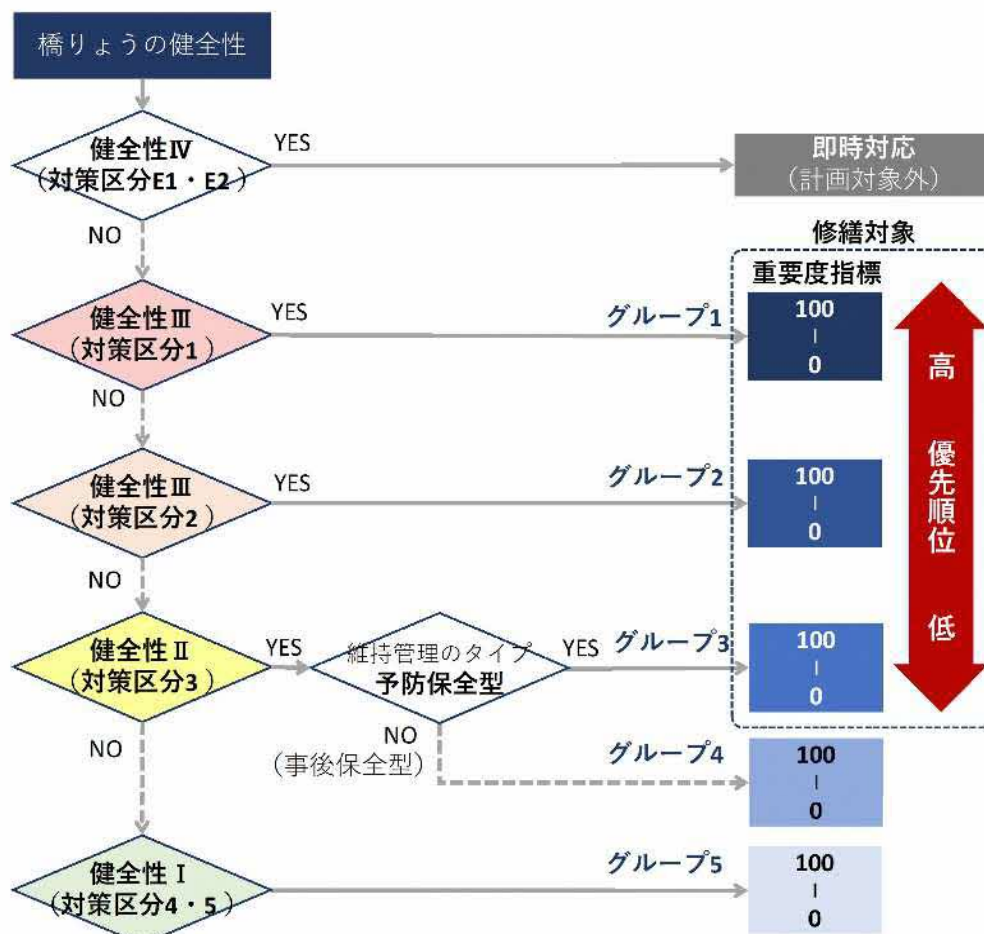


図4-2 修繕の優先順位¹⁴

¹³ 重要度指標は、利用者・第三者・管理者の視点で評価項目と配点を設定し、その合計点数により施設の重要度を評価したものです。

¹⁴ 橋梁長寿命化修繕計画基本方針 p.23 (一部修正)。ここで、フローに示す対策区分とは、神奈川県市町村版定期点検要領【橋梁編】に基づき判定された数値です。

4.2. 新技術等の活用方針

新技術等の活用方針は、以下の通りとします。

- ・ 定期点検を実施する際は、点検支援技術性能カタログ¹⁵を参考にして、点検支援技術の活用を積極的に検討します。
- ・ 修繕を実施する際は、新技術情報提供システム (NETIS)¹⁶等を参考にして、新技術・新工法の活用を積極的に検討します。

4.3. 費用の縮減に関する具体的な方針

費用の縮減に関する具体的な方針は、以下の通りとします。

- ・ 橋りょうごとに最適な管理方針を決定することで、ライフサイクルコストの縮減を図ります。
- ・ 定期点検や修繕において、新技術等を積極的に活用することにより、事業の効率化やコスト縮減を図ります。
- ・ 利用状況などから、集約・撤去が可能な橋りょうについては、地域住民との合意形成や関係機関との調整を進めていきます。集約・撤去の実現により、維持管理の効率化やコスト縮減を図ります。

¹⁵ 点検支援技術性能カタログとは、道路構造物の点検の効率化・高度化を推進するため、国土交通省が定めた標準項目に対する性能値を開発者に求め、開発者から提出されたものをカタログ形式でとりまとめたものです。

¹⁶ 新技術情報提供システム (NETIS) とは、新技術の活用のため、国土交通省が新技術に関わる情報の共有及び提供を目的として整備したデータベースシステムのことです。

5. 計画全体の目標

5.1. 集約・撤去や新技術等の活用に関する短期的な数値目標及びそのコスト縮減効果

(1) 集約・撤去に関する短期的な数値目標及びそのコスト縮減効果

利用状況が無い2橋の内、1橋については、令和12年度(2030年度)までに集約・撤去を目指します。集約・撤去により、5年間に要する維持管理費を16万円コスト縮減することを目指します。また、1橋については、撤去に向けた具体的な検討を行っていきます。

(2) 新技術等の活用に関する短期的な数値目標及びそのコスト縮減効果

1) 定期点検

橋梁点検車により点検している橋りょうの内、4橋について、令和12年度(2030年度)までに点検支援技術の活用を目指します。点検支援技術の活用により、5年間に要する定期点検費用を24万円コスト縮減することを目指します。

2) 修繕

本計画の対象期間内で修繕を行う橋りょうの内、4橋について、令和12年度(2030年度)までに新技術の活用を目指します。新技術の活用により、5年間に要する修繕工事費用を183万円コスト縮減することを目指します。

6. 計画対象期間における事業計画

(1) 橋りょう長寿命化修繕計画の対象期間

本計画の対象期間は、令和8年度(2026年度)から令和12年度(2030年度)の5年間とします。よって、次回の本計画の改定は令和12年度(2030年度)に実施します。

(2) 定期点検

次回の定期点検は、令和7年度(2025年度)から令和11年度(2029年度)に実施します。対象橋りょうごとの次回の定期点検年度は、別紙1の通りとします。

(3) 修繕計画

令和8年度(2026年度)から令和12年度(2030年度)の修繕計画は、別紙1の通りとします。

7. 長寿命化修繕計画による効果

計画対象橋りょうについて、損傷が軽微なうちに修繕を行う「予防保全型¹⁷」と、損傷が深刻化してから大規模修繕を行う「事後保全型」で、50年間に要する費用をシミュレーションしました。

シミュレーション結果より、予防保全型による修繕費用は29.2億円、事後保全型による修繕費用は38.6億円となりました。予防保全型の維持管理をすることにより、約24%のコスト削減効果（差額約9.4億円）が見込まれます¹⁸。

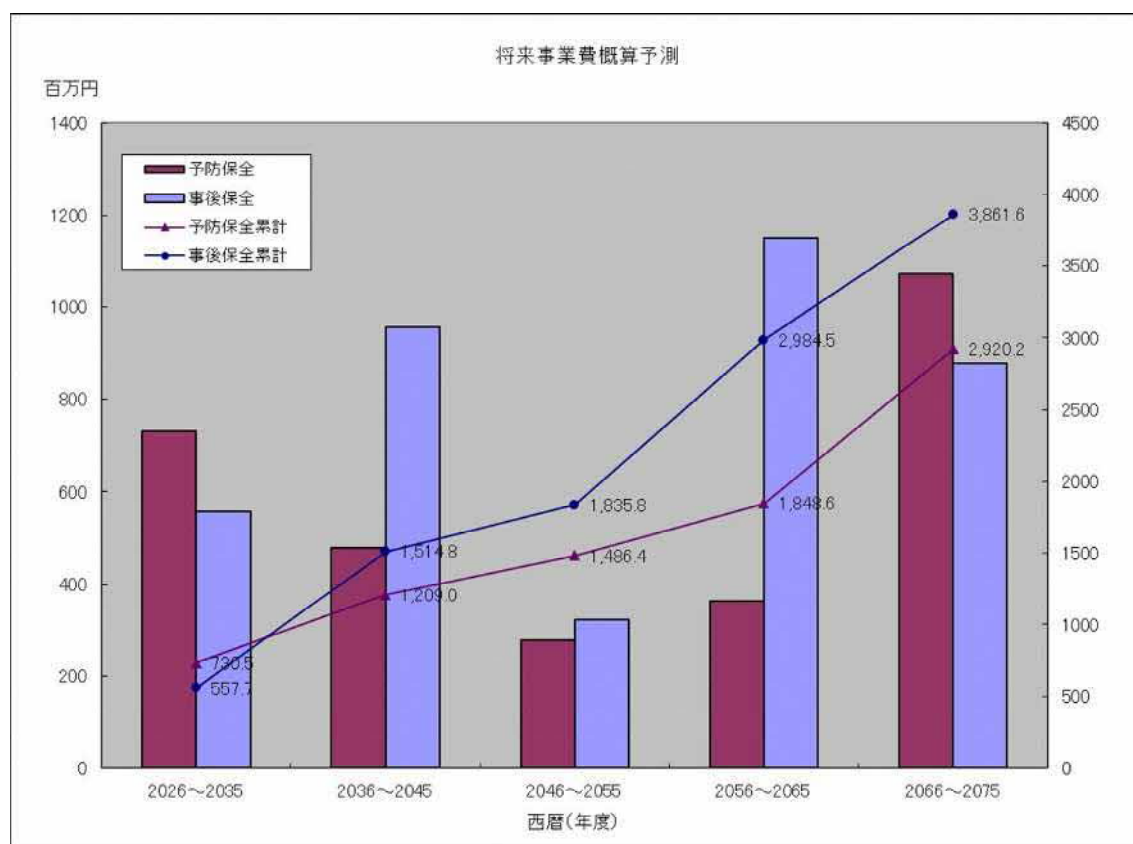


図7－1 50年間の修繕費用の試算

¹⁷このシミュレーションで定義する「予防保全型」とは、別紙1に記載した管理方針とします。

¹⁸今後、定期点検データを蓄積していくことで、さらなる精度向上が図れるため、現在の値に固定化されるものではありません。

8. 意見聴取した学識経験者、計画策定部署

8.1. 意見聴取した学識経験者

関東学院大学	理工学部	出雲 淳一	教授
横浜国立大学	大学院 都市イノベーション研究院	勝地 弘	教授

8.2. 計画策定部署

綾瀬市道路管理課

TEL : 0 4 6 7 - 7 7 - 1 1 1 1 (代表)

個別の構造物ごとの事項

NO.	構造物の諸元				直近の点検結果		管理方針	次回点検年度	対策内容
	橋りょう名	橋長(m)	橋梁形式	竣工年	点検年度	健全性 (対策区分)			
1	小園橋	12.80	PC橋	不明	2021	I (4)	予防保全型	2026	
2	新橋	13.00	鋼橋	不明	2021	I (4)	予防保全型	2026	
3	善兵橋	13.20	鋼橋	不明	2020	I (4)	予防保全型	2025	
4	丸山橋	13.50	PC橋	不明	2021	I (4)	予防保全型	2026	
5	瀬端橋	13.40	PC橋	不明	2020	I (4)	予防保全型	2025	
6	武者寄橋	13.10	PC橋	不明	2020	II (3)	予防保全型	2025	床版防水、ひび割れ注入、断面修復
7	吉野橋	12.80	PC橋	不明	2024	I (4)	予防保全型	2029	防護柵取替
8	内藤橋	20.30	PC橋	2003	2020	I (5)	予防保全型	2025	
9	虚空蔵橋	21.10	PC橋	1991	2020	I (4)	予防保全型	2025	
10	新武者寄橋	134.60	鋼橋	1981	2022	II (3)	予防保全型	2027	塗装塗替、床版防水、ひび割れ注入、断面修復
11	岡野橋	28.40	鋼橋	1973	2020	II (3)	予防保全型	2025	塗装塗替、支承交換（支承補修）
12	中野橋	27.16	鋼橋	1973	2020	II (3)	予防保全型	2025	塗装塗替、ひび割れ注入、断面修復
13	村野橋	30.20	PC橋	1990	2020	I (4)	予防保全型	2025	
14	道庵橋	28.90	鋼橋	1974	2020	II (3)	予防保全型	2025	塗装塗替
15	神崎橋	28.88	鋼橋	1973	2020	II (3)	予防保全型	2025	塗装塗替
16	吉野人道橋 1	14.50	PC橋	1994	2024	I (4)	予防保全型	2029	
17	吉野人道橋2	14.50	PC橋	1994	2024	I (4)	予防保全型	2029	
18	林橋	5.50	RC橋	1973	2021	II (3)	事後保全型	2026	
19	中橋	5.50	RC橋	不明	2021	II (3)	事後保全型	2026	
20	A-1	4.50	溝橋	不明	2021	II (3)	予防保全型	2026	ひび割れ注入、断面修復
21	A-2	4.30	RC橋	不明	2021	II (3)	事後保全型	2026	
22	代官橋	4.50	溝橋	不明	2021	I (4)	事後保全型	2026	
23	比留川橋	10.50	RC橋	不明	2021	I (4)	予防保全型	2026	
24	A-3	5.10	溝橋	不明	2021	I (4)	事後保全型	2026	
25	四ツ谷橋	9.70	PC橋	不明	2021	I (4)	予防保全型	2026	

個別の構造物ごとの事項

NO.	構造物の諸元				直近の点検結果		管理方針	次回点検年度	対策内容
	橋りょう名	橋長(m)	橋梁形式	竣工年	点検年度	健全性 (対策区分)			
26	観音橋	8.50	PC橋	1975	2020	I (4)	予防保全型	2025	
27	浅間橋	9.00	PC橋	2008	2021	I (4)	予防保全型	2026	
28	A-9	9.40	PC橋	不明	2021	II (3)	予防保全型	2026	ひび割れ注入、断面修復
29	取内橋	9.00	PC橋	1979	2021	I (4)	予防保全型	2026	
30	芝原橋	10.50	PC橋	不明	2020	I (4)	予防保全型	2025	
31	長坂橋	10.40	PC橋	不明	2021	I (4)	予防保全型	2026	
32	A-20	10.50	鋼橋	不明	2021	III (2)	予防保全型	2026	塗装塗替、鋼材補強、伸縮装置補修
33	A-21	10.80	PC橋	不明	2023	I (4)	予防保全型	2028	
34	新落合橋	12.70	PC橋	不明	2021	I (4)	予防保全型	2026	
35	落合橋	14.00	PC橋	不明	2021	I (4)	予防保全型	2026	
36	松山橋	23.00	鋼橋	2005	2021	I (5)	予防保全型	2026	
37	長峰代官橋	9.20	鋼橋	1992	2020	I (4)	予防保全型	2025	
38	2号橋	9.50	PC橋	1999	2025	II (3)	予防保全型	2030	床版防水、ひび割れ注入、断面修復
39	長峰橋	8.90	PC橋	2003	2025	II (3)	予防保全型	2030	床版防水、ひび割れ注入、断面修復
40	4号橋	9.60	PC橋	2002	2025	II (3)	予防保全型	2030	床版防水、ひび割れ注入、断面修復
41	6号橋	10.00	PC橋	1999	2025	II (3)	予防保全型	2030	床版防水、ひび割れ注入、断面修復
42	7号橋	9.10	PC橋	2011	2025	II (3)	予防保全型	2030	床版防水、ひび割れ注入、断面修復
43	8号橋	8.90	PC橋	1998	2025	II (3)	予防保全型	2030	床版防水、ひび割れ注入、断面修復
44	10号橋	8.90	PC橋	2007	2025	II (3)	予防保全型	2030	床版防水、ひび割れ注入、断面修復
45	11号橋	10.30	PC橋	2000	2025	II (3)	予防保全型	2030	床版防水、ひび割れ注入、断面修復
46	12号橋	10.30	PC橋	2005	2025	II (3)	予防保全型	2030	床版防水、ひび割れ注入、断面修復
47	鶴島橋	8.70	RC橋	不明	2021	II (3)	事後保全型	2026	
48	A-6	2.80	RC橋	不明	2021	I (5)	事後保全型	2026	
49	打越橋	9.60	PC橋	不明	2021	I (5)	予防保全型	2026	
50	A-23	14.40	RC橋	2008	2023	I (4)	予防保全型	2028	

個別の構造物ごとの事項

NO.	構造物の諸元				直近の点検結果		管理方針	次回点検年度	対策内容
	橋りょう名	橋長(m)	橋梁形式	竣工年	点検年度	健全性 (対策区分)			
51	立川橋	8.60	PC橋	1961	2021	I (4)	予防保全型	2026	
52	中川橋	10.00	PC橋	1970	2021	I (4)	予防保全型	2026	
53	綾瀬大橋	205.00	PC橋	1995	2020	II (3)	予防保全型	2025	断面修復
54	玄正橋	14.70	PC橋	不明	2020	I (4)	予防保全型	2025	
55	上土棚新橋	18.80	PC橋	2001	2020	I (4)	予防保全型	2025	
56	荻根橋	18.70	PC橋	2003	2021	I (4)	予防保全型	2026	
57	A-4	4.30	RC橋	不明	2021	I (4)	事後保全型	2026	
58	A-5	3.30	溝橋	不明	2021	I (4)	事後保全型	2026	
59	A-8	4.30	RC橋	不明	2021	I (4)	予防保全型	2026	
60	A-18	2.90	RC橋	不明	2021	I (4)	事後保全型	2026	
61	A-12	2.00	RC橋	不明	2021	I (5)	事後保全型	2026	
62	A-13	1.55	溝橋	不明	2021	I (4)	事後保全型	2026	
63	A-14	2.10	RC橋	不明	2021	II (3)	事後保全型	2026	
64	A-15	2.40	RC橋	不明	2021	I (4)	事後保全型	2026	
65	A-16	2.20	RC橋	不明	2021	I (4)	事後保全型	2026	
66	A-17	2.10	RC橋	不明	2021	III (2)	事後保全型	2026	断面修復
67	A-19	2.90	溝橋	不明	2021	III (2)	予防保全型	2026	ひび割れ注入、表面被覆
68	A-22	2.90	RC橋	不明	2023	II (3)	事後保全型	2028	
69	A-24	5.50	RC橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
70	A-25	2.90	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
71	A-26	3.00	溝橋	不明	2021	I (4)	予防保全型	2026	
72	A-27	2.00	溝橋	不明	2021	III (2)	事後保全型	2026	ひび割れ注入、表面被覆
73	本郷橋	10.50	RC橋	1989	2020	I (4)	予防保全型	2025	
74	深谷橋	3.40	PC橋	1985	2020	I (4)	予防保全型	2025	
75	水頭橋	74.70	PC橋	1967	2024	III (2)	予防保全型	2029	断面修復、剥落防止

個別の構造物ごとの事項

NO.	構造物の諸元				直近の点検結果		管理方針	次回点検年度	対策内容
	橋りょう名	橋長(m)	橋梁形式	竣工年	点検年度	健全性 (対策区分)			
76	蓼川橋	71.10	PC橋	1967	2019	Ⅲ(2)	予防保全型	2024	剥落防止
77	出口橋	67.60	PC橋	1967	2024	Ⅲ(2)	予防保全型	2029	断面修復、剥落防止
78	豊原橋	50.50	PC橋	1967	2018	Ⅲ(2)	予防保全型	2023	R7年度修繕
79	桃並橋	47.70	PC橋	1967	2024	Ⅲ(2)	予防保全型	2029	断面修復、剥落防止、防護柵補修、舗装打換え
80	釜田橋	63.00	PC橋	1967	2023	I(4)	予防保全型	2028	
81	寺尾橋	70.00	PC橋	1967	2023	Ⅱ(3)	予防保全型	2028	ひび割れ注入、断面修復
82	下原橋	71.70	鋼橋	2018	2020	Ⅱ(M)	予防保全型	2025	
83	上原橋	64.00	PC橋	1967	2020	Ⅲ(2)	予防保全型	2025	剥落防止
84	西山橋	64.00	PC橋	1967	2020	Ⅲ(2)	予防保全型	2025	R7年度修繕
85	早川橋	64.00	PC橋	1967	2024	Ⅲ(2)	予防保全型	2029	断面修復、ひび割れ注入、剥落防止、伸縮装置補修、防護柵補修、舗装打換え
86	綾北橋	75.00	PC橋	1967	2021	Ⅱ(3)	予防保全型	2026	床版防水、ひび割れ注入、断面修復
87	綾北人道橋	50.00	鋼橋	1976	2021	Ⅱ(3)	予防保全型	2026	塗装塗替
88	第3上土棚橋	26.90	RC橋	1961	2022	Ⅱ(3)	予防保全型	2027	ひび割れ注入、断面修復
89	第1落合橋	26.30	RC橋	1961	2023	Ⅱ(3)	予防保全型	2028	床版防水、ひび割れ注入、断面修復
90	第2落合橋	28.00	RC橋	1962	2023	Ⅱ(3)	予防保全型	2028	床版防水、ひび割れ注入、断面修復
91	第1早川橋	26.30	RC橋	1962	2023	I(4)	予防保全型	2028	
92	第2早川橋	28.00	RC橋	1961	2023	Ⅲ(2)	予防保全型	2028	断面修復、剥落防止
93	第3八軒町橋	28.00	RC橋	1962	2023	Ⅱ(3)	予防保全型	2028	床版防水、ひび割れ注入、断面修復
94	第2上土棚橋	28.00	RC橋	1961	2023	Ⅲ(2)	予防保全型	2028	断面修復、剥落防止
95	笹山橋	17.00	PC橋	2001	2020	I(4)	予防保全型	2025	

※補修設計等により対策の内容が変更することもあります。

※定期点検や日常パトロール及び緊急点検などの結果により、対策時期を変更することもあります。